

三里塚—78年の春

3・26空港突入・管制塔占拠戦勝利報告集

資料集No. 5



プロレタリア青年同盟三里塚現闘団 三里塚を闘う青年先鋒隊



目次

3・26戦闘は勝利した！敗走する敵を追撃し、5月開港阻止・完全廃港をかちとろう	1
寄稿 三里塚闘争は日本人の偉大な事業である。必ず勝利させなければならない。加藤 勉	5
ドキュメント 3・26三里塚—人民は勝利す！	7
勝利への軌跡 — 77・1・19~78・3・26闘争小史 —	10
写真特集 3・26の勝利はこうして実現された	14
治安弾圧・報復弾圧を許さず、5月開港阻止へ！ プロ青年反弾圧委員会	24
青年先鋒隊獄中戦士からの手紙	25

3・26戦闘は勝利した！ 敗走する敵を追撃し、5月開港阻止・完全廃港をかちとろう

——一人必死となれば万人を動かす、万人必死となれば天下を動かす——

さあ時は来た。今こそ起ちあがれ！ 3月26日、三里塚—人民の偉大なる勝利は、歴史的勝利をかちとった。三里塚決戦は三月開港を実行はばみ、日本人は偉大な勝利を闘った。今こそ、廃港と最後の勝利へ向って、敢然と決起し、巨大で壮大な総反撃と大攻勢をかちとろう。

三月二十六日、人民は偉大な勝利を闘った。

3月26日、三里塚を闘う青年先鋒隊を最先頭とする先鋒隊、勇共闘、青年共闘の五百名の戦士は、三里塚空港の中核部を占拠し、これを徹底的に破壊し、勝利を告げる真紅の赤旗は、管制塔の上にへんぼんとひるがえった。一方四千名の機動隊も、ヒストルの乱射も、わが戦士たちの決意と決断、情熱と勇気をおしとどめることはできなかった。われわれの闘い

の前には、敵政体制を敷いた権力の分厚い阻止線は、一瞬のうちに粉砕された。そして、この空港心臓部を直撃した3・26戦闘は、おこたかぶる福田政権の自衛をこころに打ち砕いた。3・26戦闘の一撃は、四面楚歌、敵身前後の福田に致命的打撃をあたえ、すでに「成田問題」は福田の政治生命を制するまでになっている。

空港突入・管制塔占拠の勝利は歴史的勝利である。

「反対運動は無効、あとは開港を待つだけ」との福田政権の開港キャンペーンの虚構はものみごと暴露され、三里塚決戦はフルジョア政治過程をも含めた巨大な政治的流動化の核となった。そして、「GNP大団」の案に併し、安眠をむさぼってきた日本国家の国際的權威を打ち砕いた。3月30日開港を断念した。3・26空港突入・管制塔占拠戦の正義の大決戦は、日本国家の力と威信が土台から崩れてきており、新しい時代が到来しつつあることを全ての人民

に告知知らせた。4月3日、政府はようやく5月20日を新たな開港日として設定した。これは、福田にとりて日本国家の国家的威信にとって、もはややり直しのきかない最後の闘いなのである。

五・二十六闘争の勝利は人民の偉大な勝利である。

ではなぜ3・26戦闘はこの偉大な勝利をかちとることができたのか。人民にだけ備わっている固有の闘争力、人民の歴史を勝利もたらしたのである。この歴史的勝利もたらしたのである。第一に、三里塚闘争の大義に對する不動の確信こそが、支配階級が予断できないような素晴らし、創意・勇気・決断、同志・自己犠牲を削りだした。三里塚農民の13年の闘いがもたらした闘争の正義性が敵を打ち破る戦術力に転じたのである。

第二に、3・26戦闘は、あらゆる水準と形態の闘争をつつ総合へと見事に編みあげ、敵に目標を見失わせ、敵の力を分散させ、敵を巨大な地域で右左にさせ大混乱におとし

3・26戦闘は、敵の施設の中核・心臓部に鋭い物理的打撃を加えただけでない。我々が言ってきたとおり「このまま開港すればどんな事態が起こるかわからない」「三里塚空港はもはや完全に機能できない」ことを天下に告知した。空港突入・管制塔占拠の闘いは、人民の力を計測できず圧倒的な兵力と物資、コンピ、タラだけ頼る政府・公団・権力の自信を根底から打ち砕き、敵を恐怖と不安の泥沼にたたきこんだ。そして、国家的威信をかけた福田政権の三月開港を断念させ、敵を開港期・開港準備より直しの大混乱に追い付めた。

3・26戦闘の勝利は、第三世界の取巻と農民切り捨てによって「近代化」路線を取ってきた「工業大団」・日本の国際的威信をひきおろした。そして、帝国主義本國の内部でアジア人民と連帯して闘う日本人の主体的力がよみがえりつつあることを全世界に告げた。我々は今、ベトナムの、中国の、朝鮮の、そして全てのアジア人民の「日本人の闘いはいついどこにあるのか」という問いにはっきりと答えることができる。「日本人は、三里塚にあり、我々は三里塚にあり、あなたが闘い抜いている」「工業大団」・日本という怪物、その同じ怪物を打ち倒すべく闘っている」と。空港の直撃した人民の闘争は同時に腐り切った日本社会を激しくゆさぶり、修復不可

能な政治的鬼装を入れた。3・26戦闘の後に接した支配階級の一人は「戦後すんなりまきざりからならぬ」と感嘆をもち、たしかにそのとおり！ けれども最終的には彼らの思いどおりになってきた時代・アジアからの取巻と高度経済成長の上に情眼をむきまわってきた時代は、たの「平和と民主主義のイデオロギー」のもとで、最大多数の最大幸福によって少数者が切り捨てられ、泣き入りしてきた時代は終わった。三里塚決戦は、戦後史を撰する歴史的闘いであると同時に、彼らのつくりだした「戦後30年」にベリオドをうち、「戦後」自体が巨大な反乱と反逆を開始した烽火突入の地である。支配階級を闘いあがせた3・26空港突入・管制塔占拠の勝利は何より、創意と勇気にあふれ、自らの力に依拠し武器をとって闘ふならば、人民は勝利できるという真理を打ちのめした。強大にみえる国家権力の本質的弱さをえぐりだし、「闘えば勝てる」という巨大な自信と感動をすべての闘争人民が共有したのである。

ドキュメント

5.26 三里塚

人民は勝利す

勝利の朝が来た

善田小学校跡地で三千名が決起

三里塚の闘争は、決起の朝が来た。善田小学校跡地で、三千名が決起した。この決起は、三里塚の闘争史上最大の決起であり、勝利の朝が来たことを告げる。この決起は、三里塚の闘争史上最大の決起であり、勝利の朝が来たことを告げる。この決起は、三里塚の闘争史上最大の決起であり、勝利の朝が来たことを告げる。

一路空港へ！進撃開始

三里塚の闘争は、一路空港へ！進撃開始。三里塚の闘争は、一路空港へ！進撃開始。三里塚の闘争は、一路空港へ！進撃開始。三里塚の闘争は、一路空港へ！進撃開始。三里塚の闘争は、一路空港へ！進撃開始。

連帯する会、一五〇〇名、横堀街道で激闘

連帯する会、一五〇〇名、横堀街道で激闘。連帯する会、一五〇〇名、横堀街道で激闘。連帯する会、一五〇〇名、横堀街道で激闘。連帯する会、一五〇〇名、横堀街道で激闘。連帯する会、一五〇〇名、横堀街道で激闘。

管制塔ついに占拠！勝利の赤旗翻る

管制塔ついに占拠！勝利の赤旗翻る。管制塔ついに占拠！勝利の赤旗翻る。管制塔ついに占拠！勝利の赤旗翻る。管制塔ついに占拠！勝利の赤旗翻る。管制塔ついに占拠！勝利の赤旗翻る。

先鋒隊、青年共闘、労共闘五百名、第八ゲートを突破

先鋒隊、青年共闘、労共闘五百名、第八ゲートを突破。先鋒隊、青年共闘、労共闘五百名、第八ゲートを突破。先鋒隊、青年共闘、労共闘五百名、第八ゲートを突破。先鋒隊、青年共闘、労共闘五百名、第八ゲートを突破。先鋒隊、青年共闘、労共闘五百名、第八ゲートを突破。

空港内へ突入！占拠

空港内へ突入！占拠。空港内へ突入！占拠。空港内へ突入！占拠。空港内へ突入！占拠。空港内へ突入！占拠。

管制塔占拠の報による大歓声、空港包囲の大デモも次々とゲートを攻撃。管制塔占拠の報による大歓声、空港包囲の大デモも次々とゲートを攻撃。管制塔占拠の報による大歓声、空港包囲の大デモも次々とゲートを攻撃。管制塔占拠の報による大歓声、空港包囲の大デモも次々とゲートを攻撃。

三昼夜にわたって敵を引き付け、横堀要戦闘われる

三昼夜にわたって敵を引き付け、横堀要戦闘われる。三昼夜にわたって敵を引き付け、横堀要戦闘われる。三昼夜にわたって敵を引き付け、横堀要戦闘われる。三昼夜にわたって敵を引き付け、横堀要戦闘われる。三昼夜にわたって敵を引き付け、横堀要戦闘われる。

渦まく勝利の感動

渦まく勝利の感動。渦まく勝利の感動。渦まく勝利の感動。渦まく勝利の感動。渦まく勝利の感動。渦まく勝利の感動。渦まく勝利の感動。渦まく勝利の感動。渦まく勝利の感動。渦まく勝利の感動。

勝利への軌跡

77.1.19 ~ 78.3.26 闘争小史

一九七七年
1.19 鉄塔決戦の火ぶた切られる。公団は機動隊に守られて鉄塔築造道路建設に本格的着手。阻止闘争が一五〇〇名結果、朝六時出勤し九機動隊に押し、プロ同部隊は真先に町道へ駆け降り、せせめと投石で闘う。その後一日中

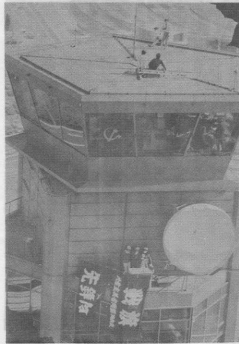
2.26 「鉄塔築造道路建設阻止・鉄塔決戦勝利委員会」に全国から四八〇〇名結果、夜第五ゲートに攻撃を加えられ、焼きあがりも。2.14 反対同盟の七五万枚の新聞全国に配布された。

2.28 「三里塚・ちづ」を闘う全国活動

- 1. 八〇〇名の結果で開かれる。
- 2. 町田公団副社長に海軍艦
- 3. 「鉄塔仮処分阻止、強制撤去要求第三鉄現地行動」に四〇〇名結果、
- 3.28 動力千葉、シレッタ燃料車輸送阻止スト開始。
- 4. 三里塚現地闘争に二万三千名結果、
- 5. 三里塚闘争史上最大の結果。三里塚交差点を、じめ各所で機動隊と衝突。連帯する会は四〇〇〇名の大結果。夜、青年共闘が鉄塔台地で機動隊。
- 5.6 若山大鉄塔開封も破壊。プロ音同部隊は午前四時、真先に若山に到着。反対同盟もこれに大だちに抗議行動とバリケードの排除にかかると。同の騒音もなく突如として機動隊の放水が始まり、ガスを水平撃して互射して闘う。

写真特集

3.26の勝利はこうして実現された



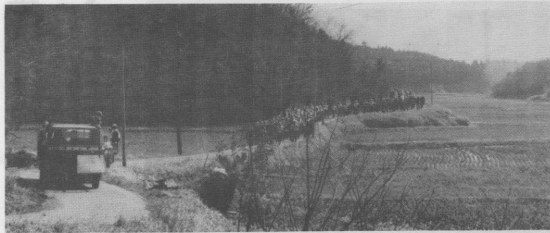
▶管制塔直下を制する白兵戦
◀やったぞ！空港の中枢に勝利の赤旗



▶この勝利 全世界にとびつけ
この勝利は、全世界に轟きわたる。日本共産党は、この勝利を、全世界に告げる。この勝利は、全世界にとびつけ、全世界に轟きわたる。日本共産党は、この勝利を、全世界に告げる。



▶いざ出陣・歴史的な人民の大会戦へ！



▲いそげ！敵艦は近いぞ
中谷津を席捲する一千の武装部隊
◀午後1時、東峰で総攻撃のろし



▲人民の先鋒たれ
一要塞を担う先鋒隊



▲3月26日機場裏面に再び鉄塔が立つ



▶三里塚はわが闘い！決起集会に結集した解放同盟（豊田小）

一路空港へ！
日本階級闘争の飛躍かけ、われら空港に突入す！



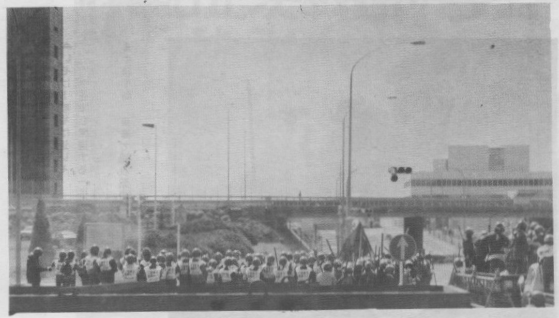
▲ 一路空港へ！ 東関東自動車道を越えて最先頭で進撃する青年先鋒隊



▶ 主力軍 8の1ゲートを突破



4 空港中核へ進撃！
隊伍をこのえよ！



▲ 主力軍の背後をつこうとする機動隊を迎撃する丹波山・朝日台防衛隊
武装する人民は勝利する！
(愛田小学校跡地の総括集会)



▶ 人民の武装して自らの解放へ



▶ 勇躍してメインストリートの攻防へ



4 みよこの闘魂！放水にひもはず進撃！



▶ くずれ機動隊
管理棟直下の白兵戦



青年先鋒隊獄中
戦士からの手紙

三月開港阻止決戦を切り拓いた。プロ青年先鋒隊
要塞上で権力を糾弾する熱田、副行動隊長(右七)
開港阻止決戦を闘った。先鋒隊先鋒隊隊長(右八)
二月七日午後四時、横浜公民館前(機動隊を撃退) (上)
死力を尽し、勇気をふりしぼって大奮のために闘う(下)



治安弾圧・報復弾圧を許さず、五月開港阻止へ！

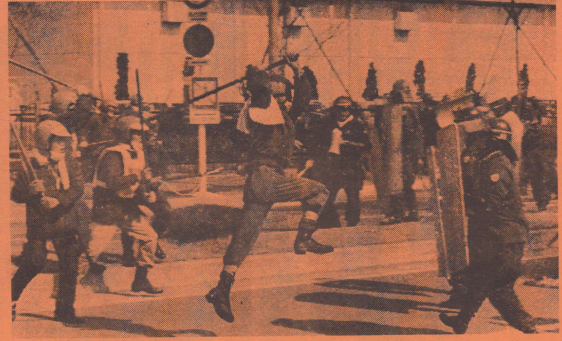
プロ青年反弾圧委員会

三・二六空港突入、管制塔占拠闘争の一大勝利によって、三月開港をこぼみんに粉砕された国家権力はいまもつきなびたてられつと闘う人民への報復、そして三・二〇開港にむけての組織的弾圧の弾圧をくわえんとしている。この間の開港阻止決戦の中で不当逮捕された仲間も、二三日(二名)、検問、二五日(一名)、検問、二六日(一名)、二七、二八、二九(三名)は北原・秋葉・石井武氏の各反対同盟幹部の二六八名にわたっている。そして横須賀基地での逮捕者七名に殺人未遂が適用され、管制塔占拠グループに航空危険罪が適用された。また負傷者は二七名におよび逮捕者一六八名中少なくも二四名が負傷している。二六日の第八ゲート、第九ゲート突入グループでは三名の全身ヤケドをはじめ〇〇名が重傷を負わされてあり、一名は警官の拳銃で二六日の銃弾の二つを足に被弾した。大失態を演じた検問隊は逮捕された仲間ほとんどに逮捕後テロを加えている。機動隊は逮捕者が連行されることとテロを煽りて欺辱をあたるといふプロパガンダをみせたのである。二七日夜の機動隊への権力の攻撃は、三・二六の大失態の汚名をなんとして返上せんと意図したものであった。二メートルの至近距離からガス弾の直撃が加えられ、失明、背椎骨折、鉄パイプで指を切断させるなどの暴挙が行われた。しかし警察がむけの力と知られるや中村典義本部長は顔面蒼白になり「こんな手段をつかっても全員検閲せよ」と逆上し、現場にあふれたかけつけ、四時間後の全員逮捕まで右往左往するという大失態を演じたのである。不当逮捕された隊中の同志たちは獄中でシネプレヒコロンをあげ、インターナショナルを合唱して三・二六・非暴力闘争を完全にする。たたりえ、ほとんど証書をつかんでいない権力は、各地方から応援をよこす(三〇)の検事三〇〇名の捜査隊をひき、必死の捜査をつづけている。

青年先鋒隊獄中 戦士からの手紙

成田一一八二号

やったやったやった。一九七八年三月二六日は日本の階級闘争史に永遠に刻まれる。三月二六日、千手刑務所の朝は各舎、各房からのシブレヒコロンとも明けた。三月検閲に勝利するぞ、「空港占拠・突入・占拠するぞ」、「三・三〇開港阻止するぞ」最後には「ソスターン・ショルまで大合唱された。三〇分後、多分全員が強制的に転房させられる。俺の場合は「出ろ」というのに対して何の用だと言えとドックに入って来てこぞ引き返されて強制的に房外に出される。その時、他の同志に聞かせるように大声で「弾圧に屈せず強張りろ」と言ってものだから、なぐる、ける、殴られるは耳はつねられる、口を押さえつけられるはメチャクチャであった。それから旧舎へ連れていかれた。フツオの野球の途中、二時頃にニュースで「数百名が空港に突入……」の音が流れる。一斉に「異議なし」の叫びが聞かれる。三時半のニュースは当局のミスで再度少し流れる。「第八ゲートから突入され、数人が管制塔にたどり着いた」と。思わず「やった」と叫ぶ。少し寝たと思ったが砂にやまされ、ウットとしながら誰か新しい者が入って来たなと思う。それにしてもいづれも寝ている。えらく多く、こんな夜更けに、何んぞだ。突然、ハッと気がつく。「そりゃ、空港突入、占拠で逮捕された同志だ」。と苦勞さんと心の中で思う。「やった」一面に広がる。二七日、面会である。「やった」一面に広がる余韻がある。このことかなりの結果を昨日の占拠戦は実現したのだと確信する。万オスターン。両手を上げてたまたまながら、同志を迎える。来る時の表情で大勝利だといふことがわかる。(中略)「もう勝利だよ」ハンストは「はなれていいよ」といふ言葉に「ゆっくり味わっ



共産主義労働者党全国協議会機関紙

統一

を読もう

月2回発行 1部60円 年間1部1400円(郵送2000円)

1978.4.15

¥150

発行 プロレタリア青年同盟三里塚現闘団
三里塚を闘う青年先鋒隊

千葉県山武郡芝山町香山新田 79

電話 04797(8)1024

東京都千代田区富士見2-8-5 山京ビル3F

電話 03(264)4195